

### CONTENTS

- P1 磯田会長挨拶  
行事予定
- P2 会員紹介 吉田瑛さん  
教育後援会との  
懇親会報告
- P3 秋の一泊研修会報告
- P4 ホームカミングデー報告  
名誉会長歓送迎、忘年会報告
- P5 駒澤会奨学金  
受給生の言葉
- P6 深沢校舎完成、落慶式  
新年賀詞交歓会案内  
新学部学科紹介  
訃報、編集後記

### 行事予定

- 12. 26(火)~1. 8(月)  
大学冬季休業
- 1. 13(土)新年賀詞交歓会
- 1. 27(土)第4回役員会
- 3. 25(日)卒業式、修了式
- 4. 2(月)入学式
- 5. 12(土)教育後援会定期総会
- 5. 19(土)駒澤会委員総会  
(深沢校舎にて)



## 駒澤会会員の皆様へ 会長 磯田 昭

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、新たな希望と様々な感慨をもって新年を迎えられたことと拝察いたします。昨年秋には深沢校舎が完成し、大学当局の方々が将来を予見し、施設の拡充強化を図られたご英断に対し、心より敬意を表すると共に、ますますの発展をお祈りする次第であります。

さて、駒澤会は大学の力強い発展を感じて、大学に対する応援体制を強化したいと願っておりますが、現実には思うにまかせない状況です。よって本年も前年同様会員の増加を第一の目標として頑張っております。会員の皆様も入会者の増加に力を貸していただき、前進する駒澤会を作り上げましょう。

末筆ながら、皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



駒澤会事務局(会館 246 4F)



## 会員紹介



今回の会員紹介は、維持会員として長く駒澤会に貢献してくださっている、吉田瑛（よしだあきら）さんです。

### 「駒澤会の思い出」

毎年委員総会が開催され、各部の活動状況・計画・決算・予算・基金運用状況・奨学金支給状況等が報告され、その後懇親会が行われます。その席で皆様とたくさんお話が出来た事が楽しい思い出です。また、賀詞交歓会・忘年会でも皆様と懇親の一時を過ごさせて頂きました。

また、運動部や文化部が優勝すると祝賀会が開催され、サッカー部・吹奏楽部・陸上競技部などは特に印象深く、わきあいあいとした雰囲気、私も一緒に優勝の祝いの席に参加させて頂きました。

駒澤会の旅行の思い出としては、日帰りで屋形船・鎌倉散策・横浜三景園、中華料理を食べた思い出がなつかしく思います。一泊旅行では、富士屋ホテル・箱根河鹿荘・南房総三日月ホテル等に行きました。研修会では前名誉会長の奈良先生、大谷総長先生のお話を聞くことができ、たいへん興味深いものがあり、貴重な勉強になりました。

それから、特別研修として、大村宣雄相談役のご自宅である豊嶋山道場寺にお伺いし、建物・お庭・座禅道場を拝見させて頂き、精進料理をご馳走になり、たいへん感銘を受けました。

このように、皆様と共に語り合い、学生たちの活躍に拍手を送り、また駒澤会研修会を通じて得られた事柄が何よりの宝であり、楽しみとなっております。

最後に駒澤会の発展と会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、私の思い出の報告とさせていただきます。

吉田 瑛

## 教育後援会との懇親会

7月28日（金）18:30～

ロイヤルパークホテル「源氏香」にて

去る7月恒例の教育後援会との懇親会が行われ、大変盛況であった。学生部・教育後援会・駒澤会を代表しての会とあって、幅広く意見交換が行われたと思われる。基本的には、駒大出身の父母、現役の父母、奨学金の支給等共通した立場で問題の共有化が図られたのではないかと。今後も駒澤会の重要な課題である会員増強を前進させるためには、教育後援会との関係は不可欠である。この懇親会が、牽牛と織姫にならぬよう今後の活動が大切である。

総務部長 新島泰宏



左：吉津学生部部長



篠田教育後援会会長

## 秋の一泊研修会報告

恒例の「秋の一泊研修会」が平成 18 年 9 月 30 日～10 月 1 日にかけて 25 名のご参加をいただき開催されました。今年は南房総、一泊二日のバスツアーでした。駒澤大学、東京駅丸ビル前から、ほぼ予定通りに大学を出発し、研修地の南房総、小湊ホテル三日月へ向かいました。

今回の研修について、計画・下見から実施直前まで、周到に準備を進めて頂いた副部長の田邊さんが、急な体調不良により不参加となるハプニングがありましたが、厚生部はもとより、部の壁を越えての応援を頂き、旅行当日を迎えることが出来ました。

さて、二人の副部長が相次いで不参加のため、森屋部長の肩にその重圧が重く押し掛かっていたことでしょうが、そんなことは微塵も感じさせない、機知に富んだ挨拶で二日間の研修旅行が始まりました。最初に訪れたローズマリー公園は、真っ赤なサルビアの花が印象的で、思いおもいに散策や買物を楽しみました。鴨川グランドホテルでの昼食はバイキングでしたが、美味しい食事を頂きながら懇親を深める事が出来て、満足なひと時でした。

誕生寺見学のあと、早めにホテルに着き、温泉と眼下に広がる大海原に、暫しのんびりすることが出来ました。

夕食前の研修は、大谷駒澤大学総長からお話をお聞きするだけと思っていた参加者は、直々のテストに驚いていましたが、『久々の試験に、皆さん様に真剣な取組み』をしていました。結果は小学生レベルから総長のお墨付きレベルまで幅広くありましたが、中学生レベルが多かった???でしょうか。時間を延長しての講義が終わり、宴会場へ入る時の皆様の顔が輝いていたのが印象的でした。

宴会では全員参加のビンゴゲームで盛り上がりました。二次会でカラオケに興じた方、温泉を楽しまれた方、そして夜が更けるに就け（夜明け?まで）真剣に話し合って眠りに就いた部屋もあったとか?

翌朝は曇天でしたが、小湊ホテル三日月から野島崎灯台の散策を済ませる頃には雨が降り出してしまいました。浜金谷での昼食・買い物の後、予定していた鋸山観光はパスして、海ほたる経由で東京駅～大学へと順調に帰ることが出来ました。

今回の研修旅行では、総務部の三崎副部長・久野さんからお申出を頂き、多大なるご協力を賜った事に感謝しつつ、連携の良さが今後の駒澤会の力になっていく事を望みたいと思います。

また、厚生部の皆様には、半年以上前からの計画・下見から実施に至るまで、細やかな気遣いを企画に織り込んで頂き、ありがとうございました。本当にお疲れ様でした。

<バスレク担当者から一言>

- ・『1メートルの長さ』に余りの差が生じて、出題者としてビックリ!!
- ・バスの中での細かな漢字クイズは、今後控えます。…（反省）

\*\*\*更にお楽しみ頂けるよう頑張ります。\*\*\*

（記） 前厚生部 井上



後列左から6番目 大谷名誉会長

ホテル三日月にて

# ホームカミングデー報告

平成18年11月 4日(土)



記念講演会

名誉教授 田上太秀先生 演題「世間は寄合い」



マーチングバンド演奏



取材中の広報部委員

左から藤田さん、高橋さん、露木さん

さわやかな天気のもと、たくさんの屋台で賑わうなか、学生たちの呼び声に誘われ、おいしいこんにやくや串団子をほおばり、雰囲気を楽しませていただきました。二時からの島倉千代子ショーは、開演前から長い行列ができるほどの人気でした。16歳の若さで「この世の花」でデビューし、68歳の現在まで50年以上も第一線で活躍していることを改めて感心させられるステージでした。歌の合間のトークも楽しく、またデビュー当時の苦労話には思わず会場もしんみりとなりました。今日まで稽古は一日も欠かさず日々精進に励み、その結果、今の島倉さんが存在することが良くわかりました。会場から歌にあわせての掛け声も盛んで、あっという間のひと時でした。ステージの終わりに、「くれぐれも実印は人に預けず必ず金庫にしまいましょう」とのアドバイスがあり、和やかな雰囲気でも幕が閉じられました。

同窓生を招待し、現在の駒澤大学を見ていただき、また近隣との絆を深める目的の催しですが、いろいろな企画を拝見し、いつもと違った駒澤大学を見ることができました。

広報部副部長 高橋輝子

# 名誉会長敬送迎会、忘年会



奈良前名誉会長



大谷名誉会長



平成18年11月25日(土)セルリアンタワー東急ホテルにおいて、42名の参加により恒例の忘年会が開催されました。

今年は奈良前名誉会長、大谷新名誉会長をお迎えして、これまでのご尽力に感謝すると共に、歓迎の気持ちを表したいとの思いから、例年とは少し異なった忘年会を計画しました。

まず、澤畑副会長の開会のことばに始まり、磯田会長の挨拶、三宅監査役の乾杯で、歓談に入りました。フルコースのディナーを頂きながら終始和やかな会に成ったと思います。終盤になり、参加者数名の方から、奈良前名誉会長とのエピソードやお世話になった事などをお話頂き、盛り上っていました。その後、奈良前名誉会長には感謝の気持ちを花束と記念品にして、大谷新名誉会長には歓迎の心を花束にしてお贈りしました。

最後に前名誉会長から近況と著書「成道十相図」についてお話頂き、参加者全員に著書「成道十相図」がプレゼントされました。新名誉会長からは駒澤大学総長としての観点からお言葉を頂きました。

楽しく過ごした2時間は「アッ」と言う間に過ぎて、赤堀副会長の言葉で閉会となりました。隣室で記念写真を撮影して解散となりました。

最後になりましたが、ご協力を頂いた総務部・他の皆様にお礼を申し上げます。 副会長 井上俊夫

## 駒澤会奨学金受給生の言葉

6号でもご報告しましたが、会員の皆様のご理解とご支援により、本年度も7月に25名の学生に総額500万円の「駒澤会奨学金」を支給する事が出来ました。役員一同改めて御礼申し上げるとともに、これからも駒澤大学を支援しつつ、会員相互の親睦を深めていきたいと考えております。8月に在校生の御父母宛に入会案内を発送しましたが、そちらに掲載しました「奨学金受給生の言葉」を紹介させていただきます。

### 就職活動の推進力

文学部地理学科 神林由宇

この度は、駒澤大学駒澤会奨学生に選んで頂き、大変光栄に感じております。

私は現在、就職活動で多くの企業を回っているところです。就職活動には、手間と時間が掛かります。しかしそれ以上に掛かるのは、交通費や昼食代等の出費です。私は就職活動中にそのような出費が増えることを見据え、アルバイトで少しずつお金を貯めてきました。しかし、就職活動の最盛期には、一日に二～三社回ることも少なくありません。そうすると、アルバイトをする時間がなくなるために、お金がどんどん出ていくような状況となりました。そのような中で、昨年駒澤会奨学生に選ばれ、多額のお金を支給して頂いたことは、現在の私の就職活動の推進力となっています。現在、アルバイトで貯めたお金を少しずつ切り崩している状況ですが、もし奨学金を受け取っていなければ、もっと状況は厳しかったと思います。そして、興味のある企業であっても、訪問出来なかったかもしれません。

現在は企業から内々定を頂き、一安心している状況ですが、まだ就職活動は続けるつもりです。このように、自分自身で納得するまで就職活動を続けることが出来るのも、奨学金のおかげであると考えています。そして今後もこの奨学金に感謝しながら、自分自身の将来について真剣に考えていきたいと思っています。

### 勉学に励み、将来に向かって

医療健康科学部 守屋里美

この度、駒澤大学駒澤会奨学生に選んでいただいた事を大変光栄に感じております。

私は現在、診療放射線技師になりたいと考えています。しかし医療関係の学部のためか大学に入学した頃から授業や実験などが予想以上に忙しく学生生活における費用について悩んでいたところで今回、応募させて頂きました。

今後もこの駒澤会奨学金に感謝し、さらに勉学に励みたいと思います。本当にありがとうございました。

### 安心して学び、研究できる環境に感謝

文学部歴史学科 野口沙果絵

この度は、駒澤大学駒澤会奨学生に選んで頂いたことを大変光栄に感じております。

駒澤会に応募したきっかけは、私が大学に入学する前に一年間浪人し、予備校に通ったことにあります。歴史の勉強がしたくて、大学に進学することを決めましたが、その為に一年多く両親に負担をかけてしまいました。大学に入学し、私が大学での勉強を頑張ることで奨学金を受給できると知り、両親の負担を少しでも軽くしたいと考えて応募させて頂きました。

大学に入学してからアルバイトを始めました。アルバイトがきっかけで人と接する仕事をしたいたいと考えるようになりましたし、学ぶことはとても多いです。しかし、学生の本分はやはり勉強であると感じています。授業やゼミ活動を優先させると、アルバイトをすることができる時間は減ってきてしまいます。勉強をするために大学に進学したのに、勉強に集中できないようでは駄目だと思っています。アルバイトと勉強とを上手く両立することが出来る人もいますが、私はアルバイトよりも勉強を優先して学生生活を送りたいと考えています。

昨年からは、古代西洋史のゼミに所属し、ずっと勉強したいと思っていたヒッタイトについて研究しています。中学生のときにヒッタイトという国を知ってから、その歴史を学びたいと考えてきました。ゼミの中でヒッタイトについて研究をしているのは私一人ですが、ゼミの仲間がそれぞれの研究課題を頑張って進めている姿を見ると、「私も頑張らなくては」という気持ちになります。ゼミでの課題には英語文献を読むことなどがあり、英語が得意ではない私には大変な作業ですが、自分のやりたかった勉強をすることができることに喜びを感じています。現在、卒業論文に向けて様々な文献を読んで研究を進めていますが、アルバイトばかりに気をとられずに集中して勉強することができているのは、奨学生に選んでいただいたからだと感じています。

学業奨励のための駒澤会奨学金制度で、私自身、勉強をより頑張ろうと感じていますし、これからもより多くの学生のためにこの制度を続けていってほしいと思います。

この度は本当にありがとうございました。

## < 深沢校舎完成、落慶式 >



駒沢公園側より深沢校舎を撮影 校舎正面にバス停あり

旧三越シルバーハウス跡地に120周年記念事業の一環として建設が進められ、完成に至りました。地上6階、地下1階。1階にはエントランス・大講義室・事務室、2～6階には国際センター・会議室・講義室・研究所・院生の研究室が配置されています。本校にいらした際に立ち寄ってみるのはいかがでしょうか。平成19年5月の委員総会は、こちらの深沢校舎奥にあります会議室・ホールで開催する予定です。

### \*\*\* 落慶式報告 \*\*\*

11月22日、晩秋とは思えない暖かな日差しの中、深沢校舎落慶法要祝賀会に、磯田会長、澤畑、井上副会長と共に出席させていただきました。

厳粛な雰囲気の中、全員で般若心経、消災妙吉祥陀羅尼を唱え、合掌に始まり合掌に終わりました。式の最後には全員で壇上に上がり、一人ずつお焼香をし、無事に式典が終わりました。私自身身が引き締まる思いで落慶式に臨ませていただきました。

式後の祝賀会は洋館大ホールにて盛大に執り行われました。このホールは以前三越迎賓館として使用されていたもので立派に改装され、日本庭園・日本館が隣接しています。従来の施設も十分活用されているということがわかりました。

このような環境の中で勉学に励むことのできる今の学生は本当に恵まれていると思います。駒澤大学の誇れる建物がまたひとつ完成したことを大変うれしく思います。在校生にも同窓生にも駒澤大学が誇れる大学となり続けることを祈念いたします。深沢校舎完成を心よりお祝い申し上げます。 副会長 赤堀菊絵

計 報 18年 3月 城 所 利 夫 様  
11月 伊 藤 榮 洪 様 (顧問)  
維持会員としての活動に深謝し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## < 賀詞交歓会ご案内 >

教育後援会主催による新年賀詞交歓会が下記の日程で開催されます。当日、駒澤会の2次会も企画していますので、奮ってご参加ください。

記

日 時：平成19年1月13日(土) 午後2時  
場 所：六本木全日空ホテル B1 プロミネンス  
TEL 03-3505-1111 (代)



## < 新学部学科紹介 >

### グローバルメディアスタディーズ学部(GMS学部)

18年4月新設。新入生数353人。実践的な英語力、メディアとコンテンツに関わる知識を養い、独自のアイデアを世界に向けて発信できる創造力と社会への洞察力を兼ね備えた人材を育成します。

### 現代応用経済学科

19年4月より経済学部が3科(経済学科・商学科・現代応用経済学科)になります。ベースとなる理論とともに現代の経済現象を研究の対象とし、前例のない新しい問題に対しても発揮できる適応力を養成。国際社会における日本の経済の担い手として、世界へ価値を発信できる経済のスペシャリストの輩出を目指します。

## 編集後記

11月4日ホームカミングデーにおいて鳥倉千代子コンサートが開催された。

デビュー曲「この世の花」から始まり、人生の応援歌、心の…までをリリカルに歌い上げた。まさに平坦な道のりを歩いてきた人には出来ない味、人生の辛酸と甘美そのものが心に響いた。忙しい日常から離れ、楽しいひと時に酔いしれた。しかし世の中は卑劣な犯罪が横行し、安倍首相が掲げるスローガン「美しい国 日本」は今何処。目先の物欲に目が眩み、目に見えない、お金では買えない「人の心」を見失ってしまった結果のように思えてならない。

駒澤会広報部は、お互いを認め支えあう心と心を紡いでいくあたたかい「駒澤会だより」を皆様にお届けしたいと頑張っています。 露木千八子

### 駒澤会だより 第7号

発行日：2007年1月1日  
発行者：駒澤大学駒澤会広報部  
154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1  
TEL 03-3418-9189 FAX 03-3418-9190